

禁煙外来

先日来院した患者の話。かなりの遠隔地から来た人で、タバコをやめた。もう2週間になる。初めはニコチンパッドを貼っていたが、今はもう貼っていない。このままやめるつもりだという。すると、いわゆる「禁煙外来」をしている医者が「やめたのは意志の力だから、また喫ってしまう可能性があるから、ニコチンパッドを貼り続けるようにしろ」と言ったという。吹き出してしまった。・・・そんなもん、**自分の意志**でタバコをやめることに成功してんねんから、いまさらニコチンパッドなんか必要ではない。何考えての理屈か知らないが、理屈にもなっていない。そもそもニコチンパッドというのは、のべつ幕なしにニコチンを体内に入れてしまうものだから、タバコを喫うことに例えるとチェーンスモーカーと同じようなもので、身体にいいはずがない。せっかくニコチンから離れることができたのに、わざわざニコチンを身体に入れる必要はない。その医者アホとちゃうか？ **ニコチンパッドは貼ってはいけないものである。**

ということで、結局その人は禁煙に成功した。

「禁煙なんか簡単なもんやで。オレら100回もやったで！」と自慢する人がいる。そんなに身体に悪いものなら、いっそ1箱1000

円でも 10000 円にでもしたらええねん。そうすれば経済的問題からやめる人が増えるだろう。JT も少しは考えたらええのに、昔社長が「身体に悪いからわたしはタバコを喫いません」と言っただけで、そんな身体に悪いとわかっているようなものを売るという神経が理解できない。さすがに問題になったそうだが。

タバコの値段でいえば、40 年前はハイライトが 80 円とか 120 円くらいで、せいぜい 3~4 倍になっている程度である。公務員の給料と比較すればどうだろう？ 適正な値段だろうか？

禁煙ガムでもそうで、ガムの噛み過ぎで顎の関節炎になった人がいるのだが、そこまでしてやめなければならないものなのか？ 禁煙キャンデーというのものもあるらしいが、糖尿病の人はちょっと困るのではないか。要するに口が淋しいだけで、だから禁煙パイポが飛ぶように売れている、とニュースで言っていた。

同じニュースで、カートン単位で買うのではなく、箱単位で買って行く人が増えたという。そんなもん、長い目でみたらあまり意味のないことやけどなあ。結局は湿ってしまっとうまくなる。

だからワタシは、禁煙外来をする気はありません。

2010.10.01.